

四万十川洪水防災シンポジウム

(2005 年台風 14 号による 四万十川洪水被害を教訓として)

2005 年 9 月台風 14 号による降雨で四万十川では約 40 年ぶりの大出水となり、家屋の床下・床上浸水被害は、四万十川沿いを中心に上流の西土佐地区から下流にかけて数百箇所にも及びました。本シンポジウムでは、この洪水被害からの教訓として、直後から災害調査、データ分析を行ってこられた 3 氏による「防災における地域の役割」、「四万十川洪水位の予測」、「災害時の情報伝達に関する取り組み」についての講演・事例報告を行います。

日 時： 2007 年 3 月 4 日(日) 13 時 00 分～16 時 00 分

場 所： かわらっこ 四万十市田出の川 24 TEL:0880-31-8400

定 員： 70名程度

参加費： 無料

主 催： 土木学会四国支部

後 援： 国土交通省中村河川国道事務所、高知県、四万十市、
大川筋地区区長会、大川筋防災連絡会、NPO四万十川天然博物館

プログラム：

開会式 13 時 00 分～13 時 10 分

講演会 13 時 10 分～15 時 30 分

「防災における地域の役割」	大年邦雄(高知大学教授)
「四万十川洪水位の予測について」	松田誠祐(高知大学名誉教授)
「川登地区における FM ラジオを用いた防災情報伝達の試み」	岡田将治(高知高専助教授)

討議 15 時 30 分～15 時 50 分

閉会式 15 時 50 分～16 時 00 分

問い合わせ先：

〒783-8508 高知県南国市物部乙 200-1

高知高専建設システム工学科 岡田将治

FAX 088-864-5654, E-mail: okada@ce.kochi-ct.ac.jp